

症例報告

●論文タイトル：

多彩な症状を呈し、メポリズマブが奏効した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の1例

●著者名：

神宮大輔、生方智、佐藤幸佑、矢島剛洋、渡辺洋、高橋洋

●所属機関名：

宮城厚生協会坂総合病院呼吸器科

●要旨：

46歳、男性。両下腿の紅斑および水疱様皮疹の治療中に肺病変・呼吸不全を呈した。ステロイド治療を開始しつつ、精査を行い好酸球性多発血管炎性肉芽腫症と診断した。ステロイド漸減中に非対称性浮腫、筋肉痛・筋腫大、神経障害が出現し、末梢血好酸球数の再上昇を認めた。ステロイド再増量で症状は軽快し、ステロイド減量のため、メポリズマブを導入したところ、症状再燃なくステロイドを減量できた。好酸球性多発血管炎性肉芽腫症は呼吸器症状以外に多彩な症状を呈することに留意し、新規知見を集積していくことが重要である。

●キーワード：

- ・好酸球性多発血管炎性肉芽腫症：Eosinophilic granulomatosis with polyangiitis (EGPA)
- ・メポリズマブ：Mepolizumab
- ・好酸球：Eosinophil
- ・抗好中球細胞質抗体：Antineutrophil cytoplasmic antibody (ANCA)
- ・再燃：relapse

●短縮タイトル：

- ・メポリズマブが奏効した多彩な症状のEGPA